ALPS処理水海洋放出の状況について

2026年11月26日

東京電力ホールディングス株式会社

報告内容

TEPCO

１．放出実績（管理番号※：26-7-25）について

２．設備点検の状況について

３．今後の放出に向けたALPS処理水の移送について

４．J8エリアタンクの解体状況

（参考）放出開始以降の海域モニタリングの実績

※ 管理番号は年度-年度毎の放出回数-通算放出回数の順で数を並べたもの。
「26-7-25」は26年度第7回放出かつ通算第25回放出を表す。

報告内容

1．放出実績（管理番号※：26-7-25）について

2．設備点検の状況について

3．今後の放出に向けたALPS処理水の移送について

4．J8エリアタンクの解体状況

（参考）放出開始以降の海域モニタリングの実績

※ 管理番号は年度-年度毎の放出回数-通算放出回数の順で数を並べたもの。
「26-7-25」は26年度第7回放出かつ通算第25回放出を表す。

はじめに

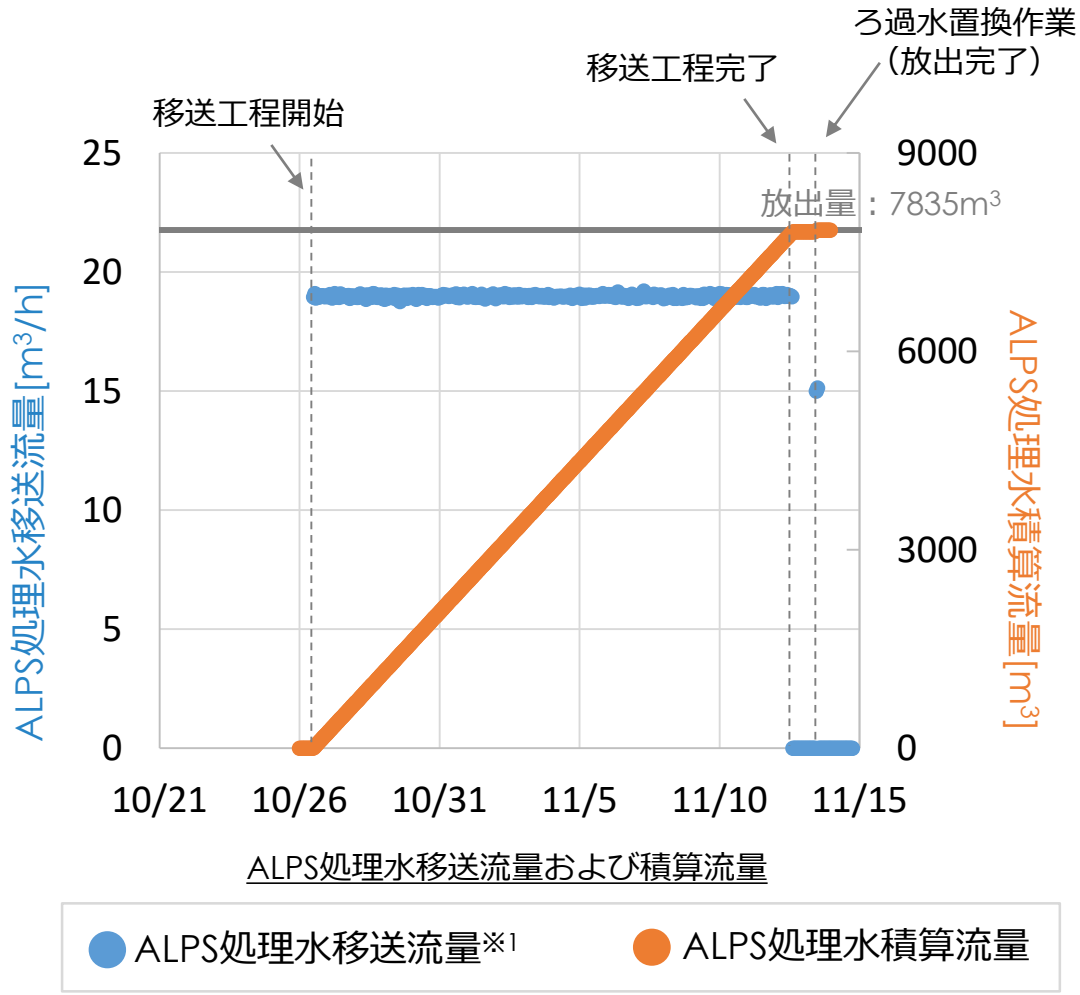
- 当社はALPS処理水海洋放出（管理番号：26-7-25）について、以下の通り実施。
- 次頁以降で、運転パラメータおよび海域モニタリング等に異常が無かったことについて報告。

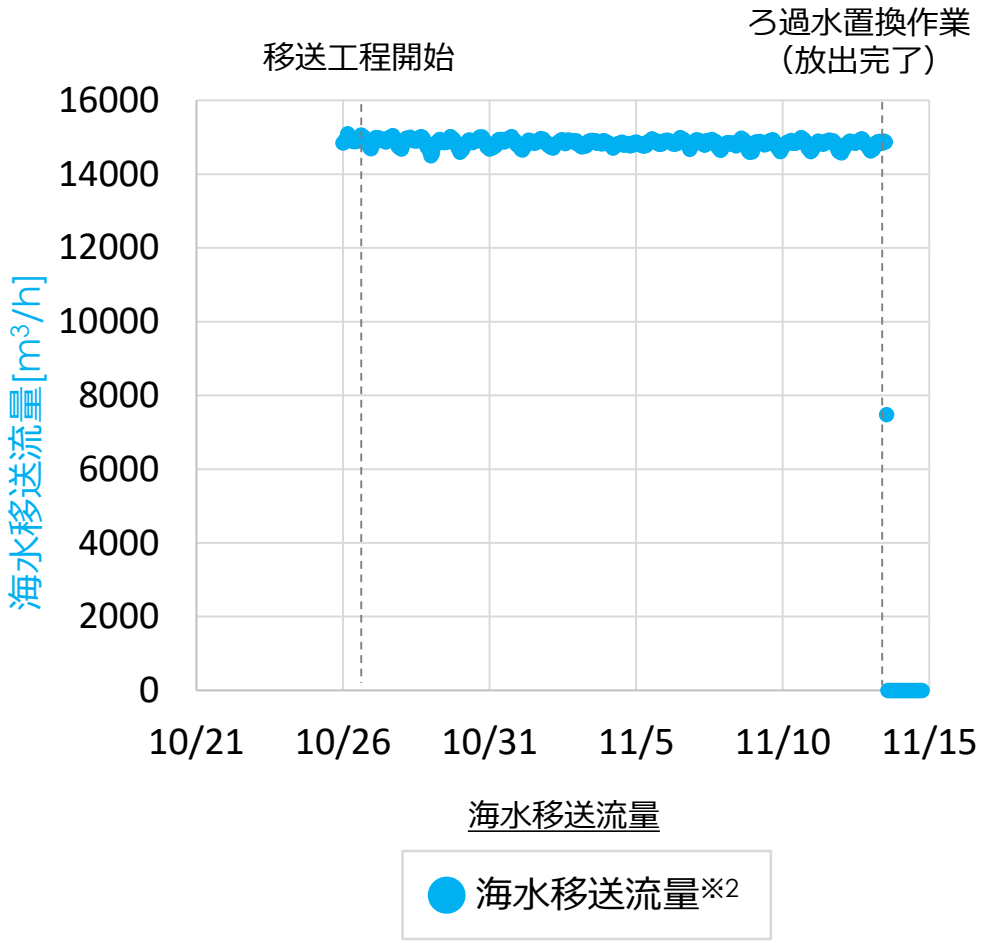
2026年度

管理番号	放出タンク群	トリチウム濃度	放出開始	放出終了	放出量	トリチウム総量
26-1-19	A群	24万ベクレル/ﾘｯﾄﾙ	2026年4月2日	2026年4月20日	7,865m^3	約1.9兆ベクレル
26-2-20	B群	17万ベクレル/ﾘｯﾄﾙ	2026年6月1日	2026年6月20日	7,927m^3	約1.3兆ベクレル
26-3-21	A群	17万ベクレル/ﾘｯﾄﾙ	2026年7月6日	2026年7月24日	7,894m^3	約1.3兆ベクレル
26-4-22	C群	17万ベクレル/ﾘｯﾄﾙ	2026年7月30日	2026年8月17日	7,888m^3	約1.3兆ベクレル
26-5-23	B群	16万ベクレル/ﾘｯﾄﾙ	2026年8月31日	2026年9月18日	7,863m^3	約1.3兆ベクレル
26-6-24	A群	15万ベクレル/ﾘｯﾄﾙ	2026年10月5日	2026年10月23日	7,852m^3	約1.2兆ベクレル
26-7-25	C群	18万ベクレル/ﾘｯﾄﾙ	2026年10月26日	2026年11月13日	7,835m^3	約1.4兆ベクレル

1－1．放出期間中の運転パラメータの実績（1/3）

■ ALPS処理水移送系統および海水系統ともに異常無く、運転。

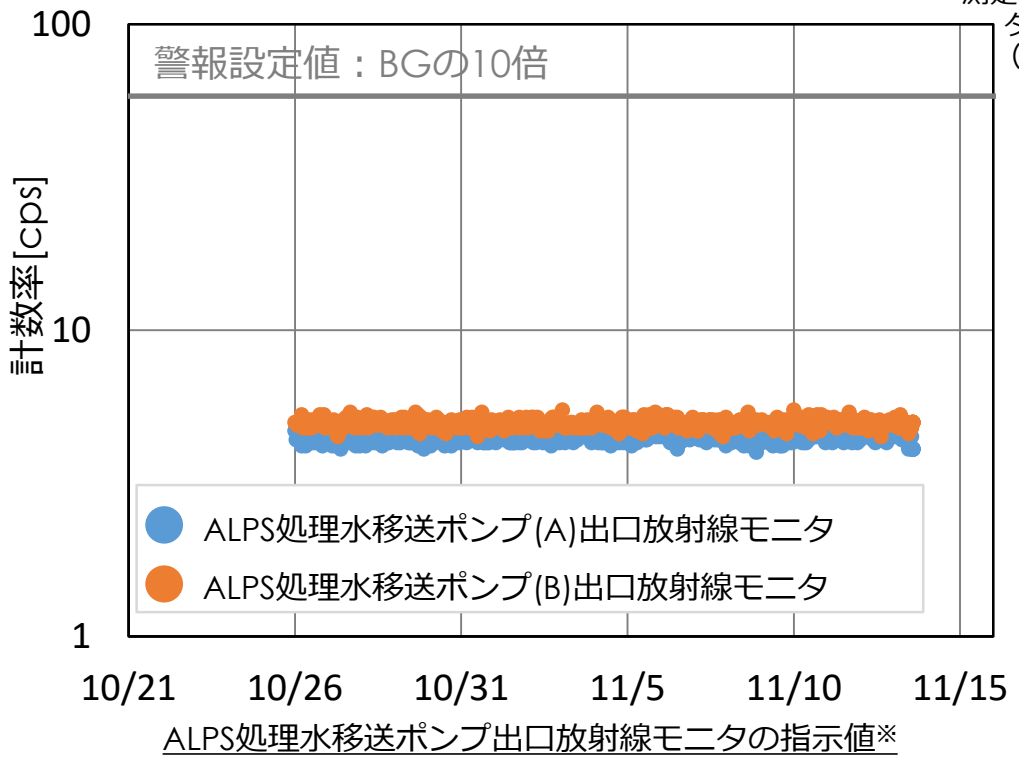




※1：流量計は2重化しているため、2つの値のうち、高い方をプロット
※2： 2系統の合計値をプロット

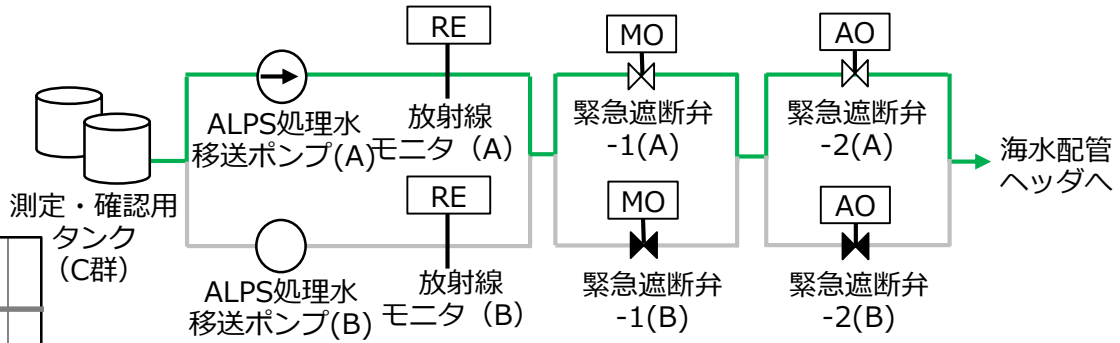
1－1．放出期間中の運転パラメータの実績（2/3）

■ ALPS処理水移送ポンプ出口放射線モニタの指示値から異常は確認されなかった。

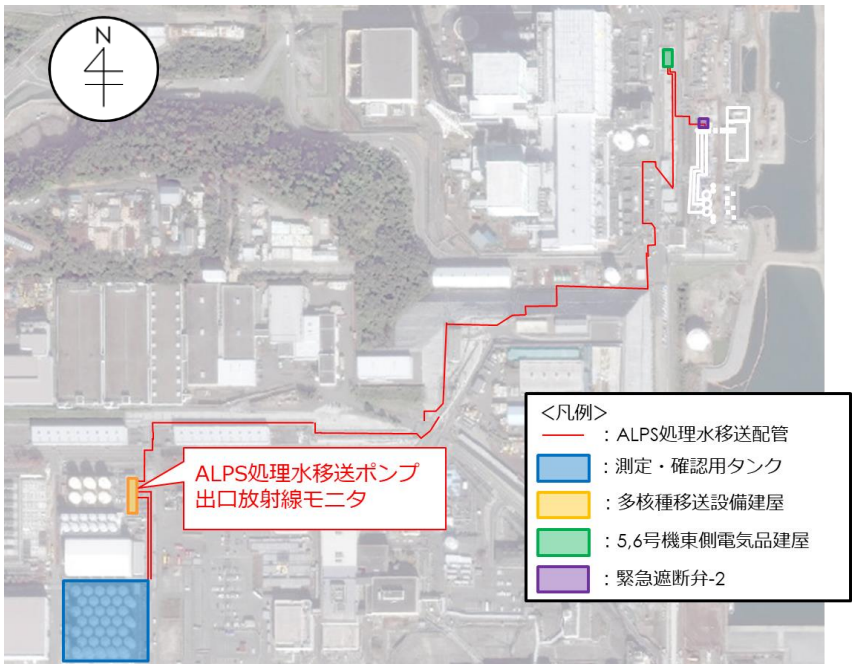


ALPS処理水移送ポンプ出口放射線モニタの指示値※

※：右上図の通り、A系にALPS処理水を通水。（B系はろ過水が充填）



ALPS処理水移送系統図



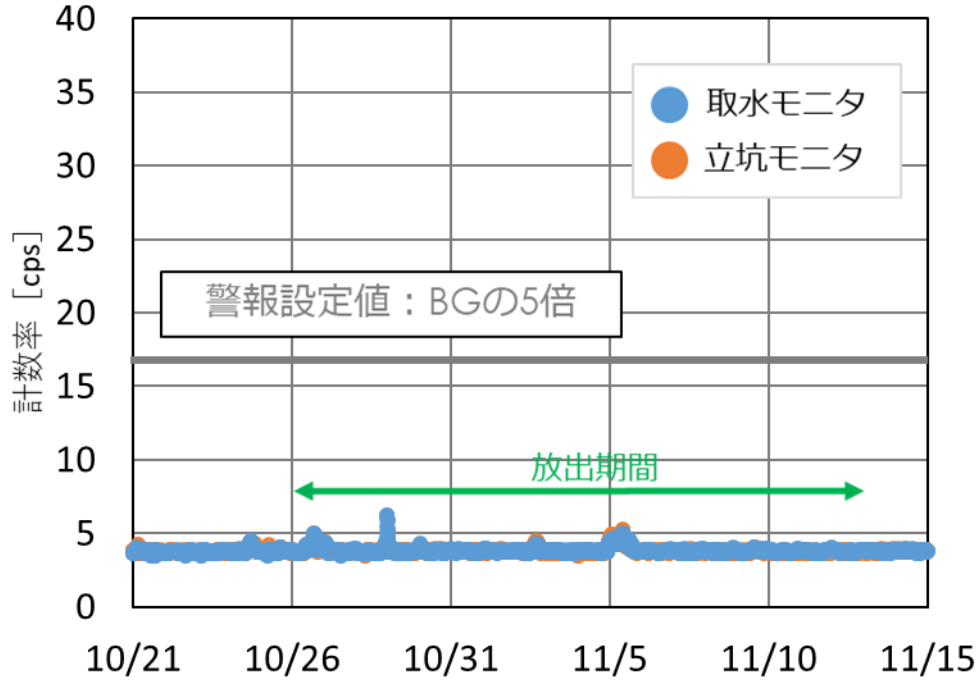
無断転載、複製禁止
堤供：日本スペースイメージング（株）2025.11.10撮影
Product(C)[2025] Vantor.

ALPS処理水希釈放出設備平面図

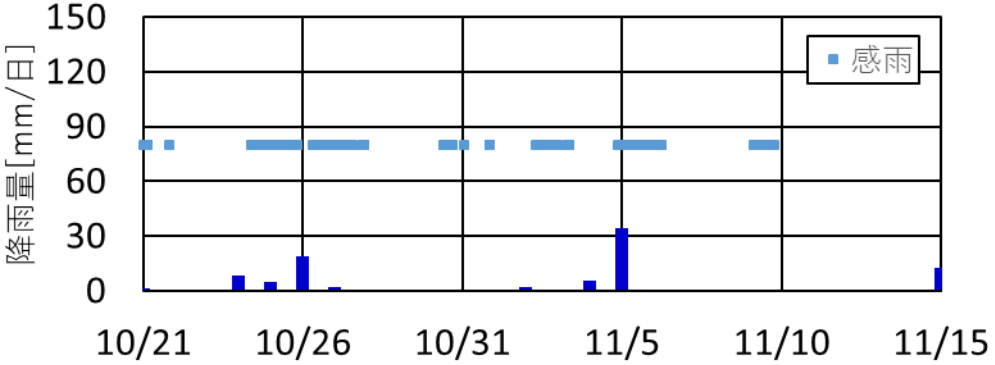
1－1．放出期間中の運転パラメータの実績（3/3）

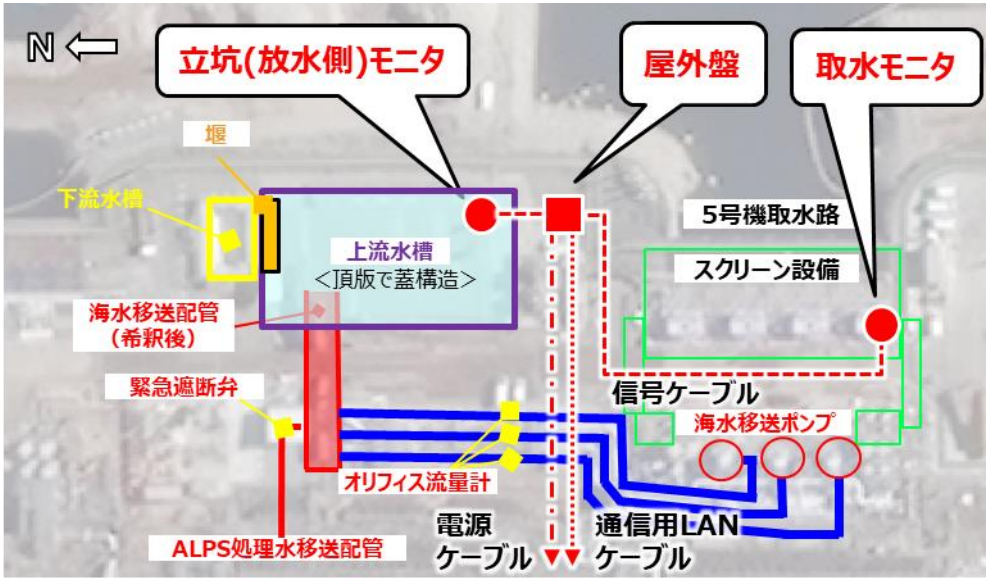
TEPCO

■ 取水モニタ、立坑モニタにおいて降雨の影響と考えられる一時的な上昇が見られているが、異常な変動は確認されていない。



取水・立坑モニタの指示値





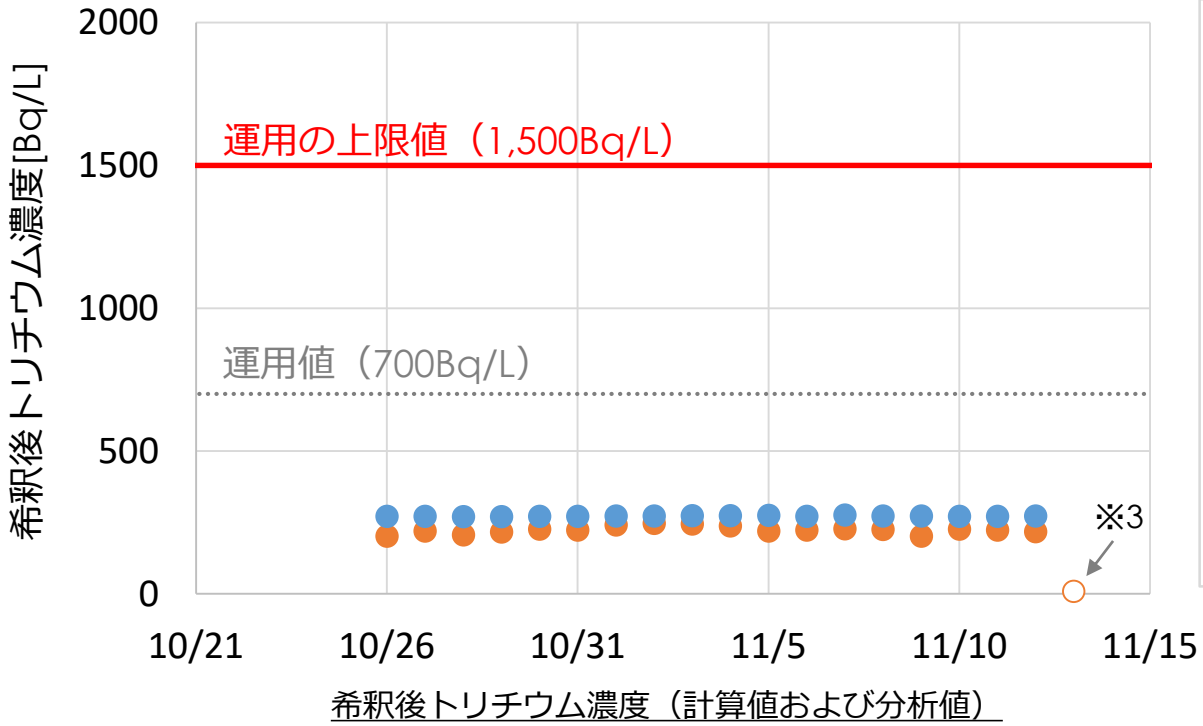
無断転載、複製禁止
堤供：日本スペースイメージング（株）2025.11.10撮影
Product(C)[2025] Vantor.

取水・立坑モニタ設置平面図

※ 降雨による一時的な上昇は、陸域からのフォールアウトの流入および大気中に存在する天然放射性核種（ラドン娘核種等）の降下による影響と推定

1－2．放出期間中の希釈後トリチウム濃度

■ 放出期間中は毎日、海水配管ヘッダ下流の水を採取し、トリチウム濃度を分析。
⇒運用の上限値である1,500Bq/L未満であることを確認。



希釈後トリチウム濃度（計算値および分析値）

● 計算値※1
● 分析値（検出値）
○ 分析値（検出限界値未満）

※1：以下の式を用いて算出
（各パラメータの不確かさは保守的に考慮している）

$$\text{希釈後トリチウム濃度（計算値）} = \frac{\text{ALPS処理水トリチウム濃度}^{※2} \times \text{ALPS処理水流量}}{\text{海水流量} + \text{ALPS処理水流量}}$$

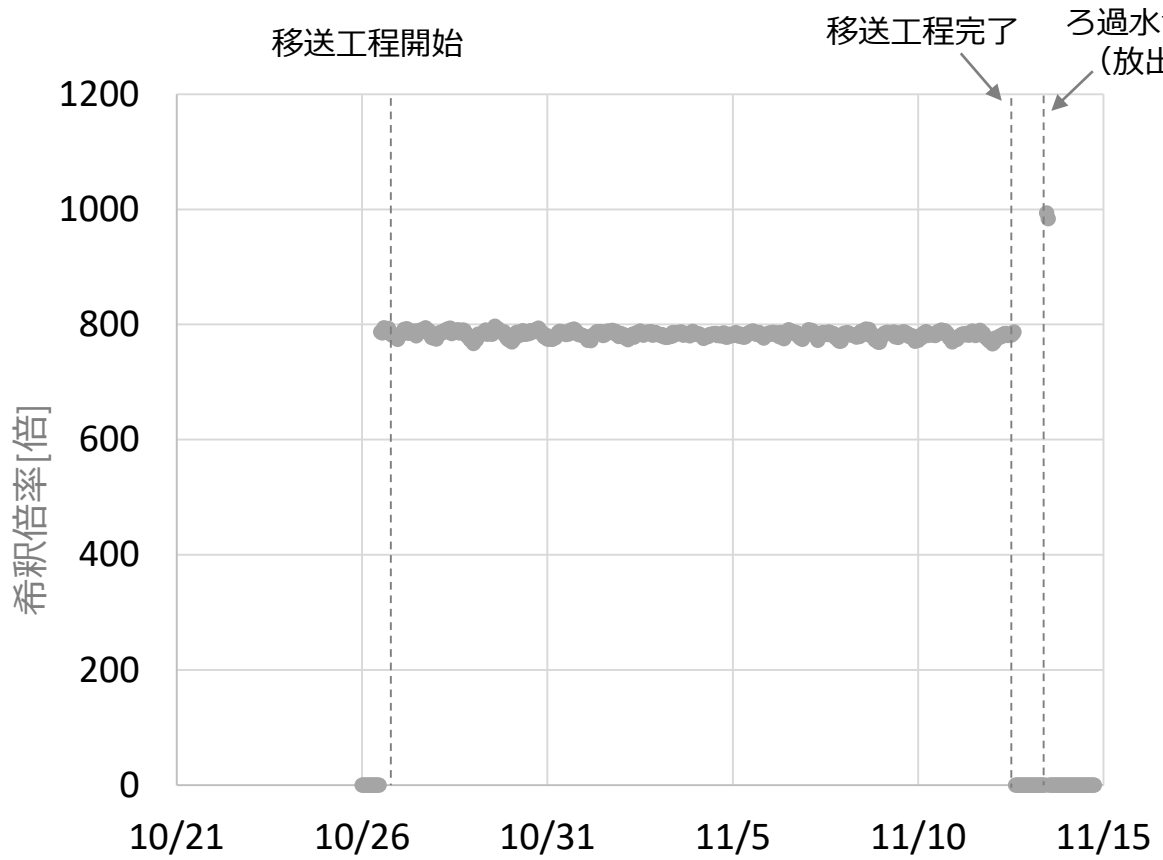
※2：測定・確認用タンクでの分析値

※3：ろ過水置換作業を実施しているため、計算値は無い。

	10/26	10/27～11/12	11/13
計算値：データ抽出時間	13:00	7:00	－
分析値：試料採取時間	13:10	7:00～10:00	12:05

【補足】ALPS処理水の希釈倍率

■ ALPS処理水の希釈倍率は常時100倍以上で運転。



ALPS処理水の希釈倍率

● 希釈倍率※1

※1：以下の式を用いて算出

$$希釈倍率 = \frac{海水流量^{※2} + ALPS処理水流量^{※3}}{ALPS処理水流量^{※3}}$$

※2： 2系統の合計値
※3：流量計は2重化しているため、2つの値のうち、高い方の値から算出

1－3．海域モニタリングの実績（1／3）

○ 放水口付近（発電所から3km以内）の10地点、放水口付近の外側（発電所正面の10km四方内）の4地点で採取した海水について、迅速に拡散状況を把握するための迅速モニタリングにおいてトリチウム濃度を測定した結果は、いずれも指標（放出停止判断レベル、調査レベル）を下回っている。

（単位：Bq/L）

	試料採取点*3	頻度	2026年10月						2026年11月				
			26日	27日	28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日
放水口付近	5,6号機放水口北側 (T-1)	2回/週*1	<7.3*4	-	-	<9.3	-	-	-	<6.5	-	-	<8.2
	南放水口付近 (T-2)	2回/週*1	<7.3*4	-	-	<9.3	-	-	-	<6.6	-	-	<8.2
	北防波堤北側 (T-0-1)	1回/日*2	<6.1*4	-*5	<8.9	<7.9	-*5	<9.1	<7.4	<7.2	<7.6	<7.1	-
	港湾口北東側 (T-0-1A)	1回/日*2	<6.1*4	-*5	<8.0	16	-*5	9.6	12	8.2	17	13	-
	港湾口東側 (T-0-2)	1回/日*2	<6.1*4	-*5	<8.9	<7.9	-*5	<9.0	<7.5	<7.2	<7.6	9.5	-
	港湾口南東側 (T-0-3A)	2回/週*1	-	-*5	<8.1	<7.1	-	-	-	<7.9	-	-	-
	南防波堤南側 (T-0-3)	2回/週*1	-	-*5	<5.8	<7.9	-	-	-	<7.1	-	-	-
	敷地北側沖合1.5km (T-A1)	2回/週*1	-	-*5	<6.9	<7.1	-	-	-	<7.9	-	-	-
	敷地沖合1.5km (T-A2)	1回/日*2	<6.1*4	-*5	<6.9	<7.1	-*5	<8.5	<8.4	<7.9	<7.5	<7.3	-
	敷地南側沖合1.5km (T-A3)	2回/週*1	-	-*5	<6.9	<7.1	-	-	-	<7.9	-	-	-
放水口付近の外側	敷地沖合3km (T-D5)	1回/週	-	-	-	<9.2	-	-	-	-	-	<7.3	-
	請戸川沖合3km付近 (T-S3)	1回/月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<8.7	-
	敷地沖合3km付近 (T-S4)	1回/月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<8.8	-
	熊川沖合4km付近 (T-S8)	1回/月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<8.8	-

※：<○ は検出限界値○Bq/L未満を示す。 ［ ］は検出された値を示す。 ［ ］：ALPS処理水放出期間(管理番号26-7-25)

*1：放出期間中および放出終了日から1週間は2回/週実施、放出停止期間中（放出終了日から1週間は除く）は1回/月実施
*2：放出期間中および放出終了日から1週間は1回/日実施、放出停止期間中（放出終了日から1週間は除く）は1回/週実施
*3：試料採取点の位置は「(参考) 海域モニタリングの計画」を参照
*4：放出開始後の13時以降に採取　*5：悪天候のため採取中止

1－3．海域モニタリングの実績（2／3）

（単位：Bq/L）

	試料採取点*3	頻度	2026年11月									
			6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
放水口付近	5,6号機放水口北側 (T-1)	2回/週*1	-	<6.1	-	<7.6	-	-	<7.8	-	-	-
	南放水口付近 (T-2)	2回/週*1	-	<6.1	-	<7.6	-	-	<7.9	-	-	-
	北防波堤北側 (T-0-1)	1回/日*2	-*5	-*5	<9.0	<8.4	-*5	<9.1	-*5	<9.4	<9.2	<8.5
	港湾口北東側 (T-0-1A)	1回/日*2	-*5	-*5	6.9	<8.4	-*5	9.6	-*5	<7.4	<9.2	<8.5
	港湾口東側 (T-0-2)	1回/日*2	-*5	-*5	<9.0	<8.4	-*5	<9.1	-*5	<9.4	<9.2	<8.5
	港湾口南東側 (T-0-3A)	2回/週*1	-*5	-*5	<7.0	<5.7	-	-	-*5	<7.4	-	-
	南防波堤南側 (T-0-3)	2回/週*1	-*5	-*5	<7.0	<8.4	-	-	-*5	<7.4	-	-
	敷地北側沖合1.5km (T-A1)	2回/週*1	-*5	-*5	<8.0	<5.7	-	-	-*5	<6.9	-	-
	敷地沖合1.5km (T-A2)	1回/日*2	-*5	-*5	<8.1	<5.7	-*5	<6.9	-*5	<6.9	<9.2	<8.5
	敷地南側沖合1.5km (T-A3)	2回/週*1	-*5	-*5	<8.1	<5.7	-	-	-*5	<6.9	-	-
放水口付近の外側	敷地沖合3km (T-D5)	1回/週	-	-	-	<7.6	-	-	-	-	-	-
	請戸川沖合3km付近 (T-S3)	1回/月	-	-	-	-	-	<6.9	-	-	-	-
	敷地沖合3km付近 (T-S4)	1回/月	-	-	-	-	-	<6.9	-	-	-	-
	熊川沖合4km付近 (T-S8)	1回/月	-	-	-	-	-	<6.9	-	-	-	-

※：<○ は検出限界値○Bq/L未満を示す。 ■ は検出された値を示す。 ■：ALPS処理水放出期間(管理番号26-7-25)

*1：放出期間中および放出終了日から1週間は2回/週実施、放出停止期間中（放出終了日から1週間は除く）は1回/月実施
*2：放出期間中および放出終了日から1週間は1回/日実施、放出停止期間中（放出終了日から1週間は除く）は1回/週実施
*3：試料採取点の位置は「(参考) 海域モニタリングの計画」を参照
*4：放出開始後の13時以降に採取　*5：悪天候のため採取中止

1－3．海域モニタリングの実績（3／3）

（単位：Bq/L）

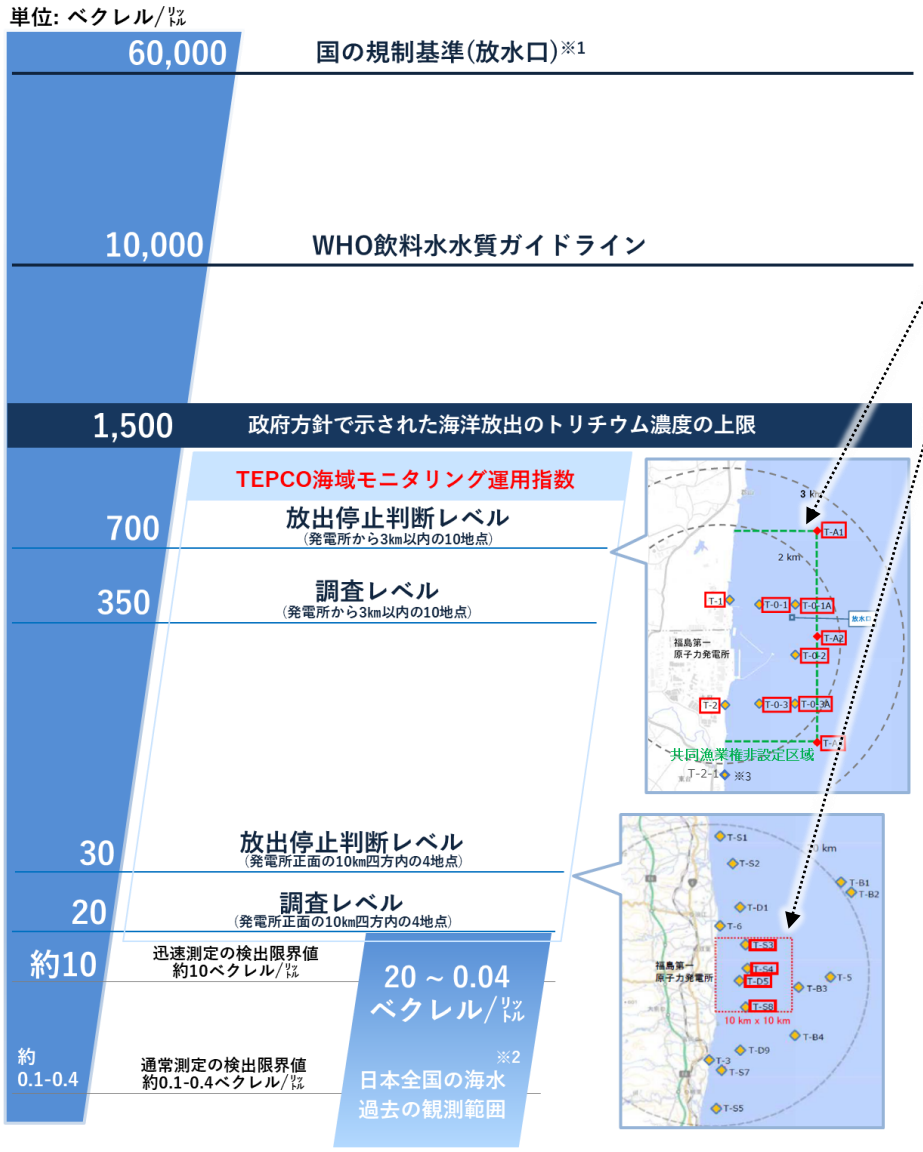
	試料採取点*3	頻度	2026年11月							
			16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日
放水口付近	5,6号機放水口北側 (T-1)	2回/週*1	<8.1	-	-	<8.9	<8.6	-	-	-
	南放水口付近 (T-2)	2回/週*1	<8.2	-	-	<8.8	<8.6	-	-	-
	北防波堤北側 (T-0-1)	1回/日*2	<7.9	-*5	-*5	-*5	-*5	-	-	<7.8
	港湾口北東側 (T-0-1A)	1回/日*2	<8.1	-*5	-*5	-*5	-*5	-	-	<7.8
	港湾口東側 (T-0-2)	1回/日*2	<7.8	-*5	-*5	-*5	-*5	-	-	<7.7
	港湾口南東側 (T-0-3A)	2回/週*1	<8.9	-	-	-*5	-*5	-	-	-
	南防波堤南側 (T-0-3)	2回/週*1	<7.8	-	-	-*5	-*5	-	-	-
	敷地北側沖合1.5km (T-A1)	2回/週*1	<8.9	-	-	-*5	-*5	-	-	-
	敷地沖合1.5km (T-A2)	1回/日*2	<8.9	-*5	-*5	-*5	-*5	-	-	<7.9
	敷地南側沖合1.5km (T-A3)	2回/週*1	<8.9	-	-	-*5	-*5	-	-	-
放水口付近の外側	敷地沖合3km (T-D5)	1回/週	-	-	-	-	-*5	-	-	<8.0
	請戸川沖合3km付近 (T-S3)	1回/月	-	-	-	-	-	-	-	-
	敷地沖合3km付近 (T-S4)	1回/月	-	-	-	-	-	-	-	-
	熊川沖合4km付近 (T-S8)	1回/月	-	-	-	-	-	-	-	-

※：<○ は検出限界値○Bq/L未満を示す。 ［　］は検出された値を示す。 ［　］：ALPS処理水放出期間(管理番号26-7-25)

*1：放出期間中および放出終了日から1週間は2回/週実施、放出停止期間中（放出終了日から1週間は除く）は1回/月実施
*2：放出期間中および放出終了日から1週間は1回/日実施、放出停止期間中（放出終了日から1週間は除く）は1回/週実施
*3：試料採取点の位置は「(参考) 海域モニタリングの計画」を参照
*4：放出開始後の13時以降に採取　*5：悪天候のため採取中止

【補足】海水のトリチウム濃度の比較

【参考】海水のトリチウム濃度の比較



■ 当社の運用上の指標として、放出停止判断レベルおよび調査レベルを設定している。

	放出停止判断レベル	調査レベル
発電所から3km以内	700 Bq/L	350 Bq/L
発電所正面の10km四方内	30 Bq/L	20 Bq/L

<放出停止判断レベルを超過した場合>
海洋放出を速やかに停止
<調査レベルを超過した場合>
設備・運転状況の確認、採取頻度の強化を検討

■ 指標（放出停止判断レベルおよび調査レベル）を超えた場合でも、法令基準60,000 Bq/LやWHO飲料水水質ガイドライン10,000 Bq/Lを十分下回り、周辺海域は安全な状態であると考えている。

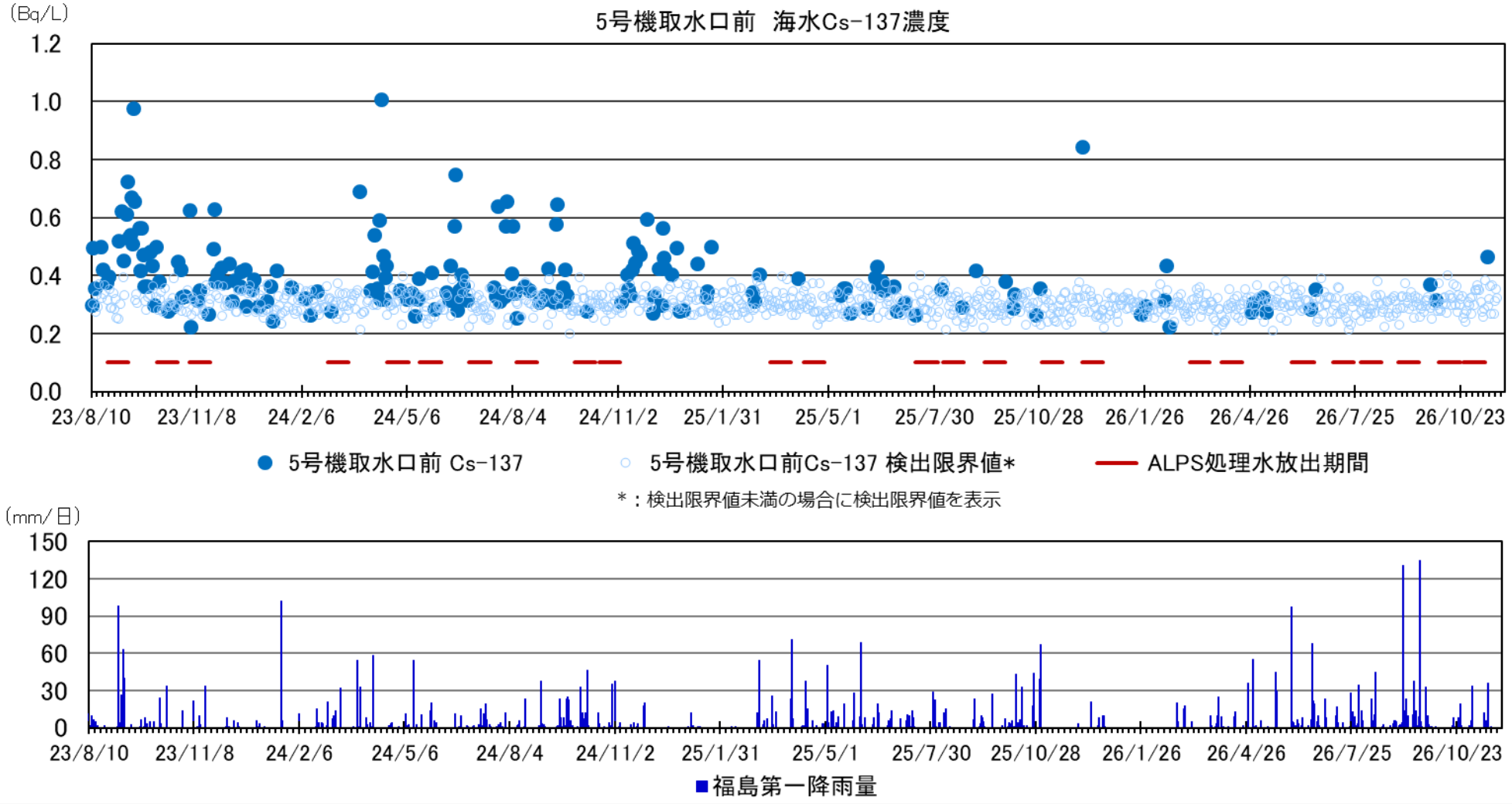
■ 今後、放出する処理水のトリチウム濃度に応じて海水濃度も影響を受け、これまでより高い分析値が検出されることも想定される。それらの場合でも、調査レベルなどの指標を下回るものと考えている。

※1: 原子力施設の放水口から出る水を、毎日、その濃度で約2ℓ飲み続けた場合、一年間で1ミリシーベルトの被ばくとなる濃度から定められた基準
※2: 出典「環境放射能・放射線データベース」（期間：2019/4～2023/7）
※3: T-2で安全が確保出来ない場合の代替地点

1－4． 5号機取水路のモニタリングについて

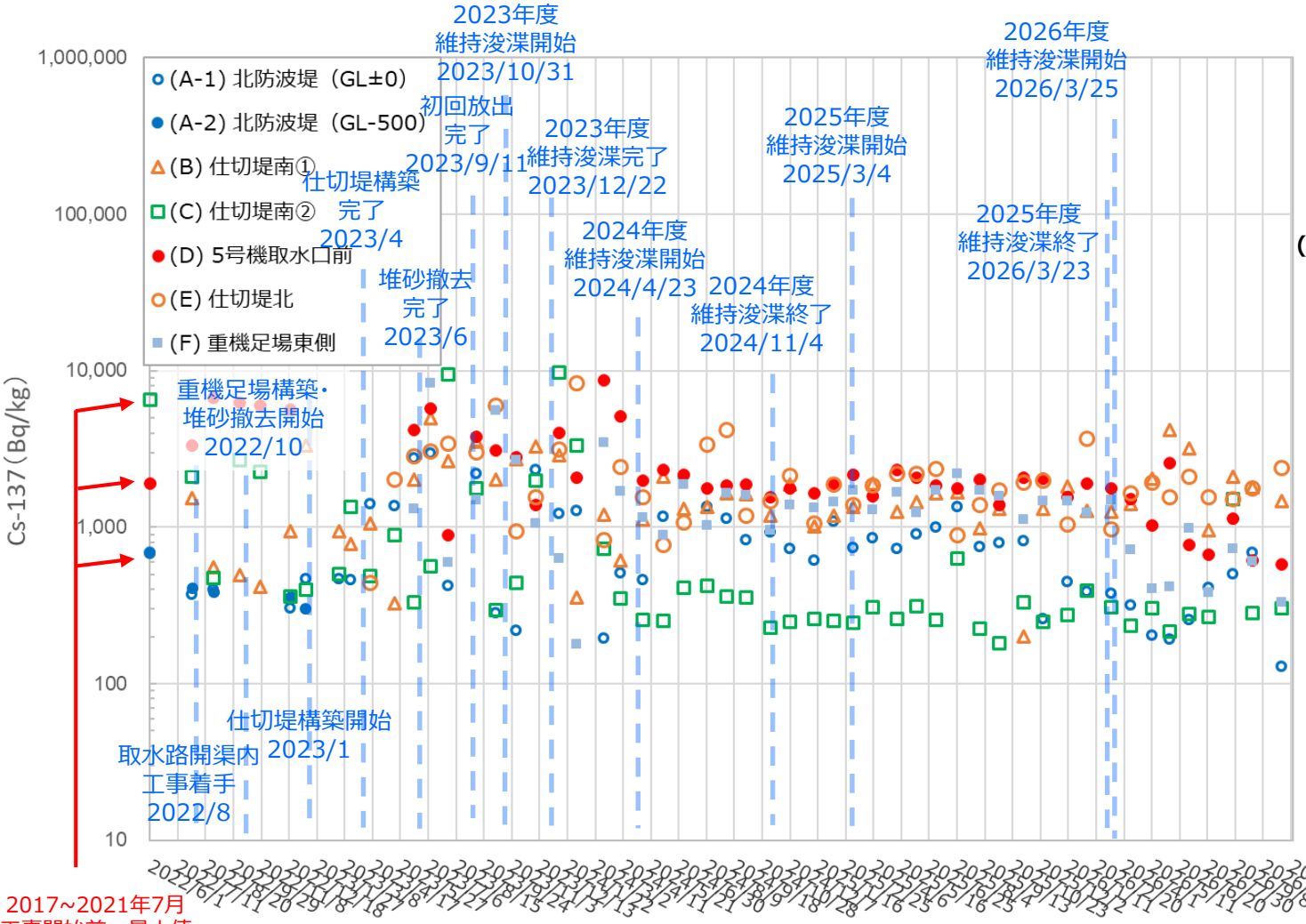
TEPCO

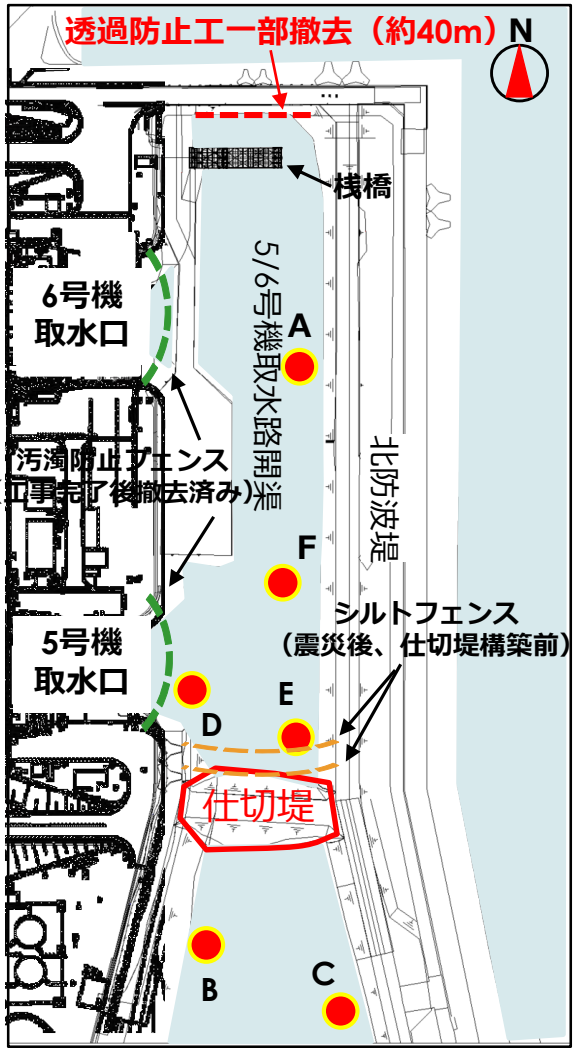
- ALPS処理水の放出期間中の希釈用海水の取水口付近での海水モニタリング結果は、放出停止期間中の値と同程度であることを確認している。



1－5． 5/6号機取水路開渠内の海底土モニタリング結果（1）

- 5号機取水口前モニタリングにおいて、取水路開渠内の工事開始後、2022年12月までは有意な変動は見られなかったが、2023年1月以降は高い値を示しており、堆砂撤去の完了に伴い、数値の低下を確認している。
- 引き続き、海底土モニタリングを継続実施していく。

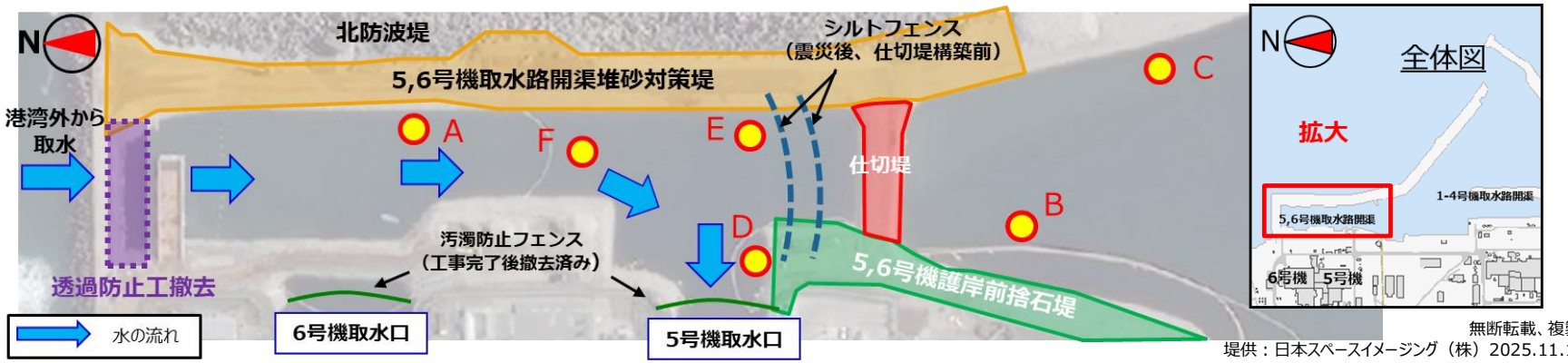




1－5． 5/6号機取水路開渠内の海底土モニタリング結果（2）

TEPCO

➢ 2022年8月～2026年11月までの5/6号機取水路開渠内の海底土モニタリング結果を以下に示す。



無断転載、複製禁止
提供：日本スペースイメージング（株）2025.11.10撮影
Product(C)[2025] Vantor.

採取地点		工事開始前	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度							
		2017～2022年7月	8月～3月	4月～3月	4月～3月	4月～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
A-1 5,6号開渠北側（シルトフェンス北側 GL±0m ）	Cs-134	ND～9.5 (4.4)	ND (31.5～39.8)	ND～65.5 (32.0)	ND (34.4～64.5)	ND (29.7～92.3)	ND (24.3)	ND (34.8)	ND (24.7)	ND (32.7)	ND (44.1)	ND (48.9)	ND (41.1)	ND (40.1)
	Cs-137	163.6～678.6	303.2～468.1	216.7～2975.0	461.7～2107.0	258.1～1352.0	316.9	204.3	190.4	255.4	407.5	501.2	685.2	127.9
A-2 5,6号開渠北側（シルトフェンス北側 GL-0.5m ）	Cs-134	ND～20.0 (25.6)	ND (32.5～38.3)	－	※浚渫により砂を撤去したため、表面（GL±0m）のみ実施									
	Cs-137	310.0～689.8	299.1～404.0	－										
B 仕切堤南側①（シルトフェンス南側）	Cs-134	723.0	ND～73.9 (42.1)	ND～97.1 (38.2)	ND (35.1～64.5)	ND (35.7～84.1)	ND (63.8)	ND (45.4)	ND (51.4)	ND (59.0)	ND (41.9)	ND (63.6)	ND (59.9)	ND (58.9)
	Cs-137	6,475.0	412.8～3,331.0	323.8～4943.0	613.8～1889.0	200.1～1889.0	1,408.0	2,040.0	4,198.0	3,193.0	954.3	2,109.0	1,784.0	1,469.0
C 仕切堤南側②（シルトフェンス南側）	Cs-134	183.0	ND～51.3 (30.9)	ND～234.8 (37.1)	ND (26.5～48.6)	ND (25.1～50.7)	ND (38.8)	ND (25.2)	ND (34.1)	ND (30.5)	ND (36.2)	ND (54.6)	ND (30.2)	ND (31.4)
	Cs-137	1,893.0	360.8～2,671.0	295.9～9519.0	227.4～419.6	182.1～633.3	233.6	304.0	214.5	276.3	266.3	1,511.0	282.7	304.5
D 5号機取水口	Cs-134	－	101.6～3,546.0	ND～690.7 (50.3)	ND～114.8 (35.9)	ND (37.6～80.5)	ND (53.4)	ND (52.7)	ND (61.9)	ND (56.8)	ND (39.2)	ND (60.9)	ND (48.3)	ND (57.3)
	Cs-137	－	3,301.0～144,000.0	951.7～26400.0	1563.0～2306.0	1380.0～2306.0	1,509.0	1,026.0	2,575.0	766.3	666.5	1,129.0	616.0	580.4
E 仕切堤北側	Cs-134	－	－	ND～161.2 (35.6)	ND (30.0～59.7)	ND (36.0～82.8)	ND (40.5)	ND (53.5)	ND (43.7)	ND (48.1)	ND (55.3)	ND (51.3)	ND (52.1)	ND (57.3)
	Cs-137	－	－	437.1～5795.0	746.6～4154.0	882.6～3652.0	1,654.0	1,921.0	1,560.0	2,106.0	1,555.0	1,510.0	1,758.0	2,384.0
F 重機足場東側	Cs-134	－	－	ND～166.1 (31.3)	ND (34.1～87.1)	ND (34.1～69.2)	ND (58.3)	ND (38.7)	ND (33.7)	ND (30.3)	ND (33.4)	ND (48.3)	ND (45.6)	ND (44.1)
	Cs-137	－	－	592.4～8303.0	891.0～1884.0	1122.0～2187.0	713.2	404.5	416.2	985.2	379.9	725.3	607.1	329.9

（注）単位：Bq/kg 、 灰色ハッチング箇所は「当該期間中すべてのデータが検出限界値未満」を示す 、 上表のうち()内の数値は、「検出限界値」を示す

【補足】測定・評価対象核種（29核種）の放射能総量

TEPCO

- 管理番号：26-7-25における、測定・評価対象核種（29核種）の放射能総量[Bq]は以下の通り。（それぞれの分析値※1[Bq/L]と放出量（7,835m³）から算出。）

※1：告示濃度比総和は0.14となり、1未満であることを確認

- なお、分析値が検出限界値未満（ND）である核種の放射能総量は算出しない。

核種	分析値 [Bq/L]	放射能総量[Bq]	核種	分析値 [Bq/L]	放射能総量[Bq]	核種	分析値 [Bq/L]	放射能総量[Bq]
C-14	2.0E+01	1.6E+08	Cd-113m	<1.0E-01	－	U-234※3	<3.4E-02	－
Mn-54	<2.7E-02	－	Sb-125	1.3E-01	1.0E+06	U-238※3	<3.4E-02	－
Fe-55	<1.6E+01	－	Te-125m※2	5.0E-02	3.9E+05	Np-237※3	<3.4E-02	－
Co-60	4.2E-01	3.3E+06	I-129	6.5E-01	5.1E+06	Pu-238※3	<3.4E-02	－
Ni-63	<8.8E+00	－	Cs-134	<2.9E-02	－	Pu-239※3	<3.4E-02	－
Se-79	<1.1E+00	－	Cs-137	2.9E-01	2.3E+06	Pu-240※3	<3.4E-02	－
Sr-90	4.4E-01	3.4E+06	Pm-147※2	<2.7E-01	－	Pu-241※2	<9.4E-01	－
Y-90※2	4.4E-01	3.4E+06	Sm-151※2	<1.0E-02	－	Am-241※3	<3.4E-02	－
Tc-99	1.9E+00	1.5E+07	Eu-154	<6.0E-02	－	Cm-244※3	<3.4E-02	－
Ru-106	<2.2E-01	－	Eu-155	<2.2E-01	－			

※2：放射平衡等により分析値を評価

※3：全α測定値

報告内容

1．放出実績（管理番号※：26-7-25）について

2．設備点検の状況について

3．今後の放出に向けたALPS処理水の移送について

4．J8エリアタンクの解体状況

（参考）放出開始以降の海域モニタリングの実績

※ 管理番号は年度-年度毎の放出回数-通算放出回数の順で数を並べたもの。
「26-7-25」は26年度第7回放出かつ通算第25回放出を表す。

2．2026年度の設備点検の概要

- 下表の通りの定例点検を実施中。
- 今後、点検の進捗に応じて、逐次状況を報告予定。

設備名	主な点検内容	点検状況
測定・確認用設備	測定・確認用タンクA群：全面内面点検	点検中
	循環ポンプ：軸受け潤滑油交換	点検中
	攪拌機器：絶縁抵抗測定他	点検中
	その他：ストレーナ清掃等	点検中
移送設備	ALPS処理水移送ポンプ：分解点検	点検中
	緊急遮断弁-1：分解点検	2026年12月より点検開始予定
	緊急遮断弁-2：外観点検	点検中
	その他：ストレーナー清掃等	点検中
希釈設備	海水移送ポンプA系：グランドパッキン交換	点検中
	海水移送ポンプB系：分解点検	点検中
	海水移送ポンプC系：グランドパッキン交換	点検中
	海水移送配管・海水配管ヘッダ：内面点検	点検中
	放水立坑（上流水槽）：内面点検	点検中
放水設備	放水立坑（下流水槽）、放水トンネル：内面点検	2026年12月より点検開始予定
取水設備	仕切堤：外観点検	2026年12月より点検開始予定
	取水路B系：清掃、内面点検、補修	点検中

報告内容

TEPCO

1．放出実績（管理番号※：26-7-25）について

2．設備点検の状況について

3．今後の放出に向けたALPS処理水の移送について

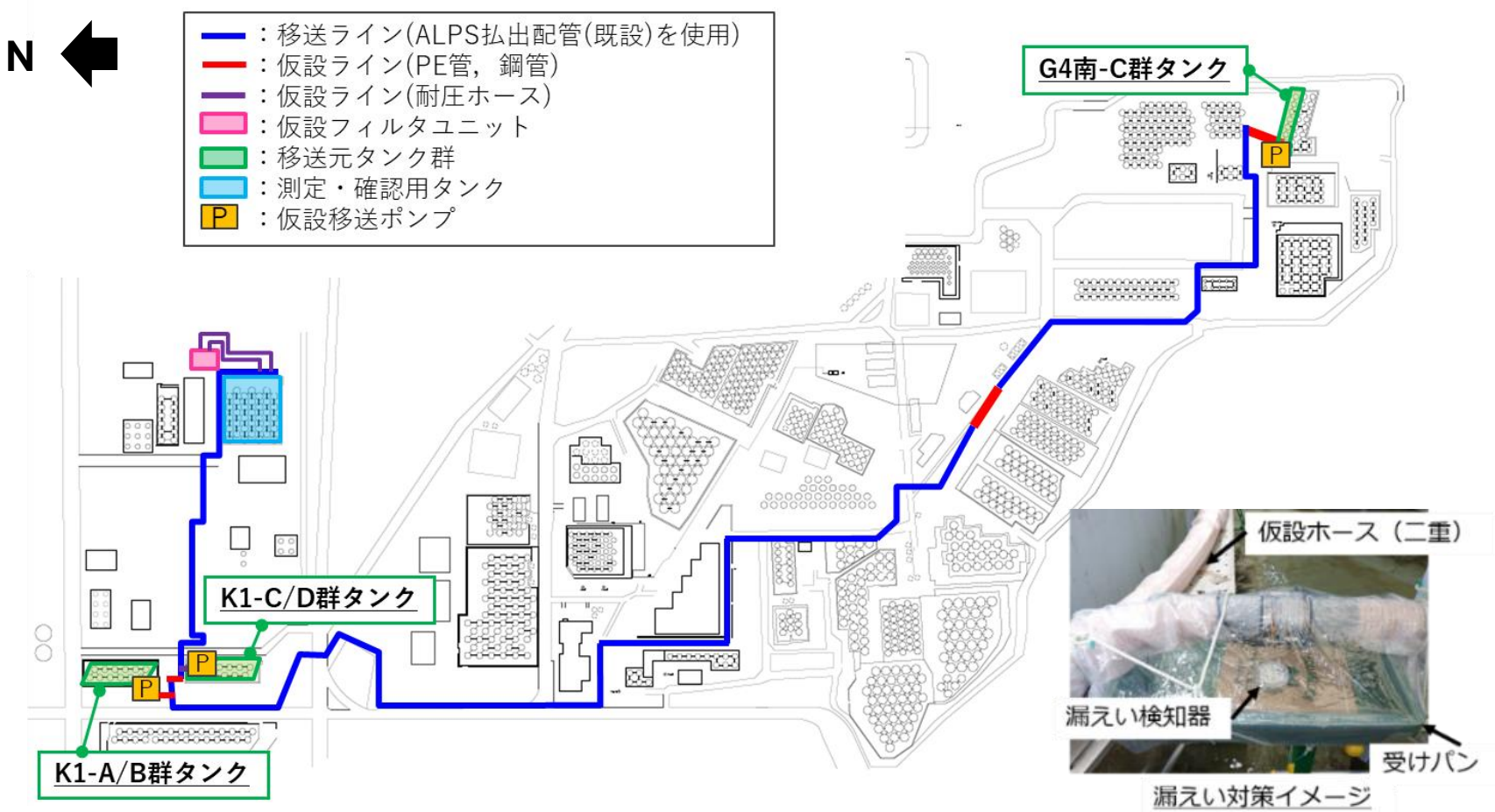
4．J8エリアタンクの解体状況

（参考）放出開始以降の海域モニタリングの実績

※ 管理番号は年度-年度毎の放出回数-通算放出回数の順で数を並べたもの。
「26-7-25」は26年度第7回放出かつ通算第25回放出を表す。

3．今後の放出に向けたALPS処理水の移送について

- 管理番号：26-8-26の放出に向けたK1-C/D群、G4南-C群から測定・確認用設備B群への移送を実施（2026年10月1日～11月10日。移送量（実績）：7,790m^3（K1-C/D:1,540m^3、 G4南-C:6,250m^3）。
- 管理番号：27-1-27の放出に向けたG4南-C群、K1-A/B群から測定・確認用設備C群への移送を2026年12月中に開始予定。



報告内容

１．放出実績（管理番号※：26-7-25）について

２．設備点検の状況について

３．今後の放出に向けたALPS処理水の移送について

４．J8エリアタンクの解体状況

（参考）放出開始以降の海域モニタリングの実績

※ 管理番号は年度-年度毎の放出回数-通算放出回数の順で数を並べたもの。
「26-7-25」は26年度第7回放出かつ通算第25回放出を表す。

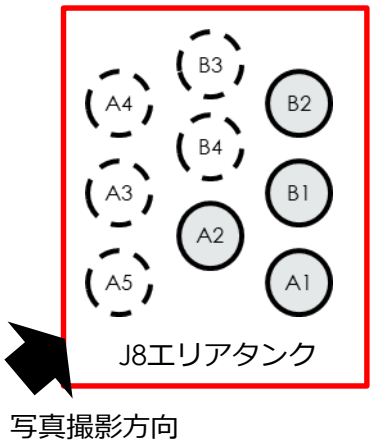
4．J8エリアタンクの解体状況

- 放出により空いたタンクエリアについては、順次、廃炉に必要な施設のための敷地として確保する。
- 2号機の燃料デブリ取り出し関連施設の建設場所として想定しているEエリアに加えて、Eエリア近傍のJ8，J9エリア※を3号機の燃料デブリ取り出し関連施設の建設場所と想定。

※J9エリアタンク：2025年2月14日～ 解体着手、9月3日　解体完了(全12基)。

＜J8エリアタンクの解体状況＞

- 2025年7月～9月 J8エリアタンクに貯留していた水をH1-Gエリアタンクに移送
- 2026年1月20日～ 解体着手、4月10日 5基目 解体完了。
- 6基目の解体は4月13日に着手。
- 5~10月までの暖候期は作業中断。11月18日に作業を再開。





＜2026年1月15日撮影＞



＜2026年4月21日撮影＞

報告内容

1．放出実績（管理番号※：26-7-25）について

2．設備点検の状況について

3．今後の放出に向けたALPS処理水の移送について

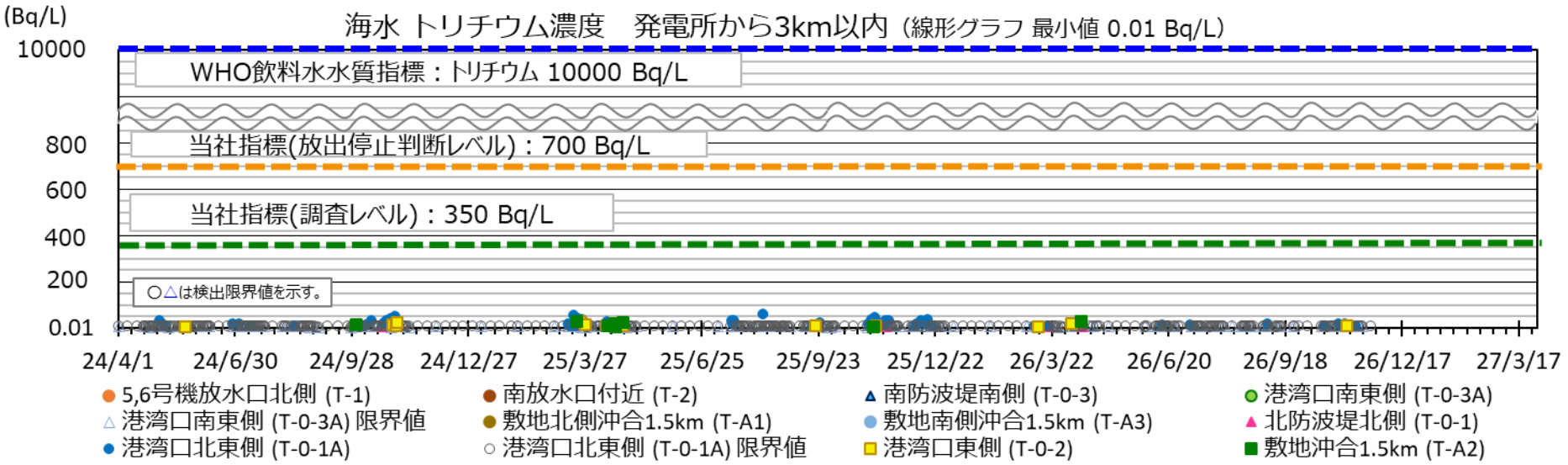
4．J8エリアタンクの解体状況

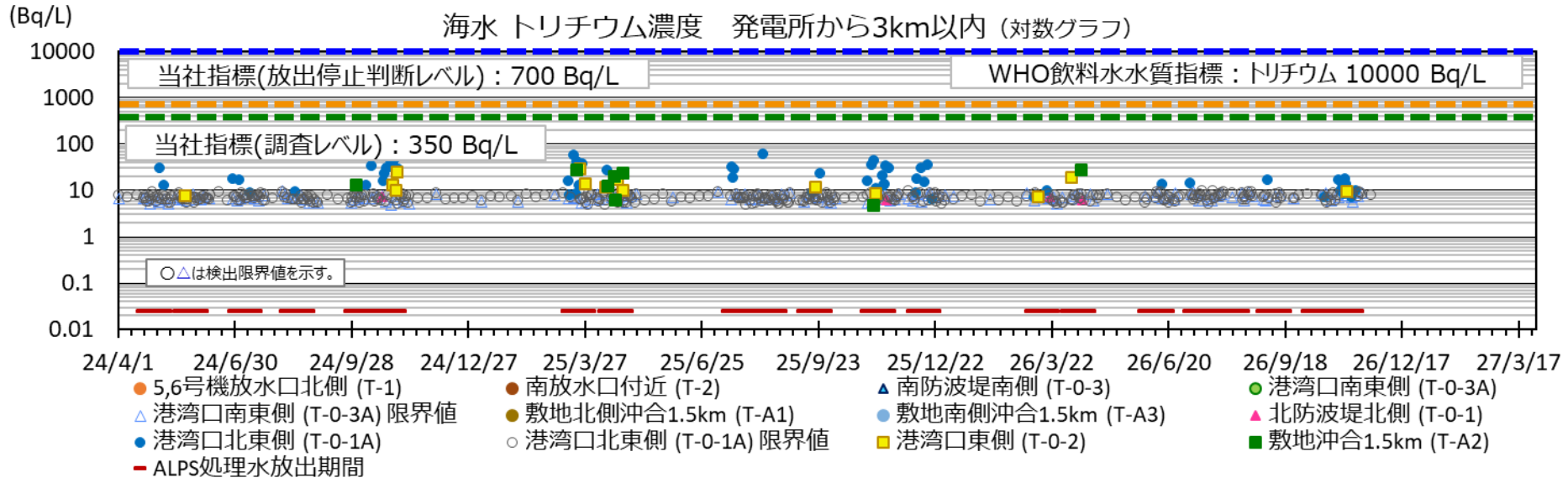
（参考）放出開始以降の海域モニタリングの実績

※ 管理番号は年度-年度毎の放出回数-通算放出回数の順で数を並べたもの。
「26-7-25」は26年度第7回放出かつ通算第25回放出を表す。

（参考）海域モニタリングの実績（1/2）　迅速モニタリング

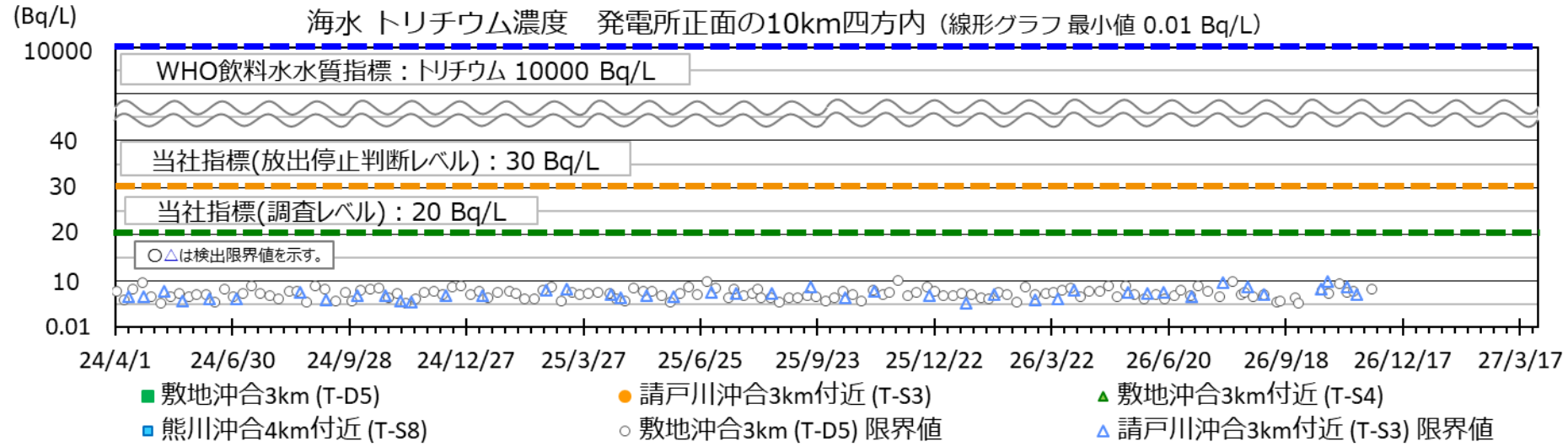
3km圏内

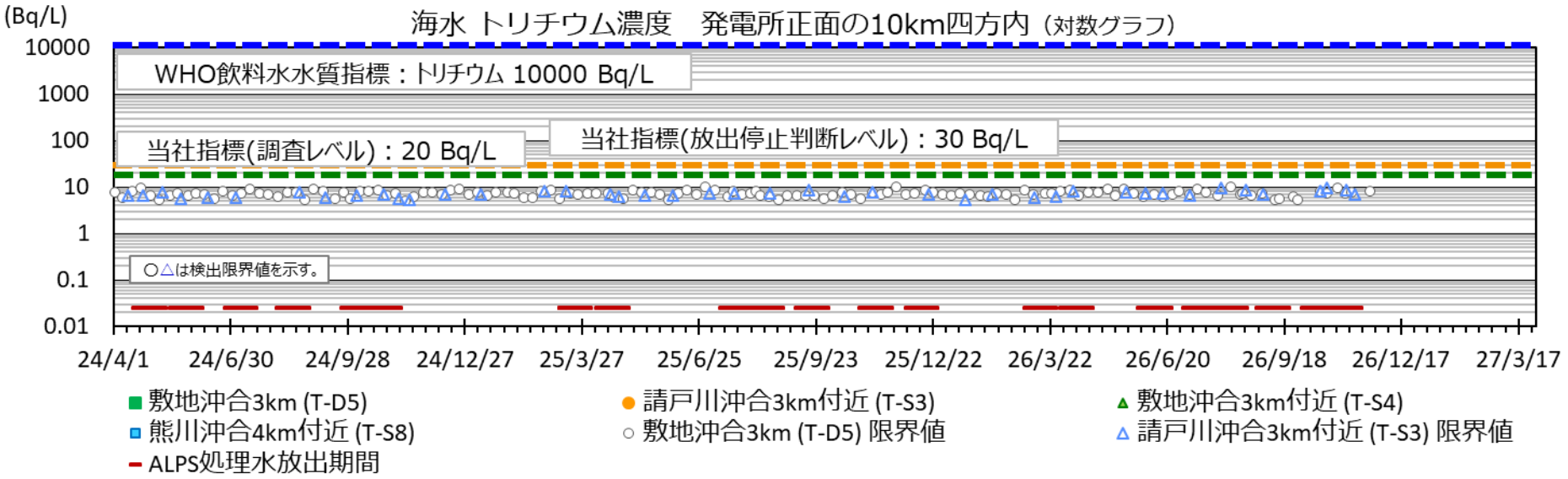




（参考）海域モニタリングの実績（2/2）　迅速モニタリング

10km四方内





（参考）海域モニタリングの計画　海水トリチウム 迅速モニタリング

TEPCO

○ 海水トリチウム濃度を迅速に把握するため、検出限界目標値を10 Bq/Lとした迅速モニタリングを開始し、放出停止を判断する指標（放出停止判断レベル）を設定

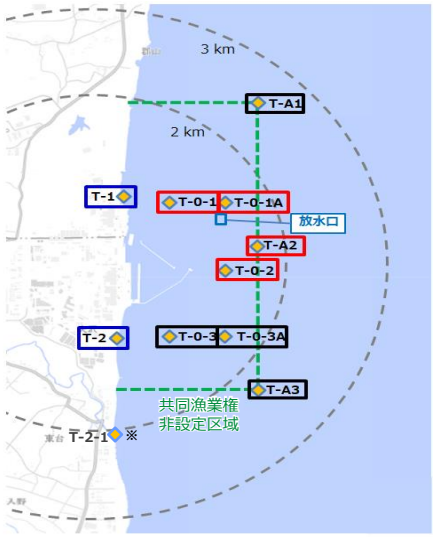


図1　試料採取地点　発電所から3km以内（放水口付近）

□ □ ■: 迅速に結果を得るモニタリング対象地点（10地点）

指標（放出停止判断レベル） 700ﾍﾞｸﾚﾙ/ﾘｯﾄﾙ

※ T-2で安全が確保出来ない場合の代替地点

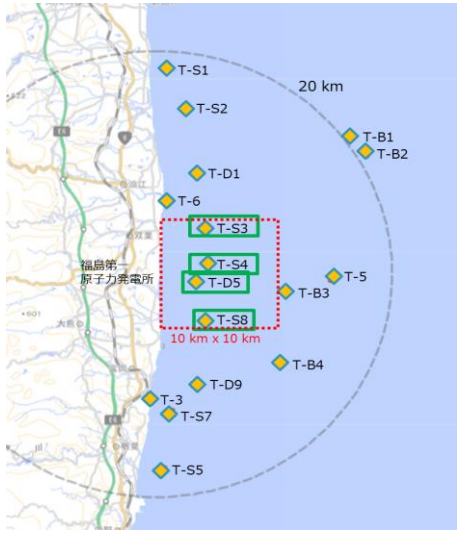


図2　試料採取地点　発電所正面の10km四方内

□: 迅速に結果を得るモニタリング対象地点（4地点）

指標（放出停止判断レベル） 30ﾍﾞｸﾚﾙ/ﾘｯﾄﾙ

	【図1】発電所から3km以内（放水口付近）		【図2】発電所正面の10km四方内 4地点 □
	放水口周辺4地点 □	その他6地点 □ ■	
放出期間中および 放出終了日から1週間	毎日※1	週2回※2	T-D5:週1回 T-S3,T-S4,T-S8：月1回
放出停止期間中 （放出終了日から1週間を除く）	週1回※2	月1回※2	

※1 放出期間中に荒天のため連続して2日間欠測し、翌日（3日目）も欠測が予測される場合には、3日目はT-1、T-2の迅速に結果を得る測定を行う。

※2 2023年８月の放出開始以降、毎日モニタリングを実施してきましたが、放出中の実績等を踏まえ、2023年12月26日からモニタリング計画を変更した。
(2023年12月25日公表)